

粉河高等学校定時制

実施日時	令和2年9月23日（火）
参加者	生徒6名、教職員7名、地域住民等0名 計13名
実施内容	講義（災害時の避難方法等）、救命救急講習、災害時の知恵（新聞紙や段ボールを利用したスリッパ、簡易トイレ、防寒着の作成）

ねらい

近い将来予想される南海・東南海大地震をはじめ自然災害に備えて、那賀消防組合や地域等と協力・連携しながら、生徒に防災・減災に関する専門的な知識や技術を習得させ、防災への意識を高め、地域防災の担い手・リーダーとして社会貢献できる青少年の育成を図る。

主なプログラム

- 1 講義（災害時の避難方法等）
- 2 救命救急講習（心肺蘇生法）
- 3 災害時の知恵（新聞紙や段ボールを利用したスリッパ、簡易トイレ、防寒着の作成）

概要

- 1 講義（災害時の避難方法等）

那賀消防組合東消防署の署員1名を講師に、講義（災害への備え）と救命救急講習（心肺蘇生法）に取り組んだ。質疑応答を交えながら、地震・火災・洪水・土砂災害・台風等に備えて日頃から備えておくことの大切さ等を学習した。
- 2 救命救急講習（心肺蘇生法）

心肺蘇生法について、講師先生の実演を見ながら説明を受け、生徒は実習に取り組んだ。実技では、失敗しながらも特に緊張感をもって臨んでいた。



- 3 災害時の知恵（段ボールや新聞紙を利用したスリッパ、簡易トイレ、防寒着の作成）

教員の指導の下で、参加生徒を3つに分け、災害時に役立つ知恵として、「新聞紙でスリッパ」、「新聞紙で簡易トイレ」、「段ボールで防寒着」の3種類の作成に全員が順番に取り組んだ。

参加者感想文

- ・心臓マッサージを初めてして勉強になった。また、力かいるんだなと思いました。
- ・段ボール、新聞紙やペット用シーツを使えば、災害時に役立ついろいろな物が作れることが分かりました。これらを身につけて、実践していこうと思いました。
- ・大切な人を守るために頑張っていこうと思いました。



成果と課題

【成果】

那賀消防組合東消防署の方の指導により、1学年参加生徒6名が、災害への備えと心肺蘇生法を学習・体験できた。指導も生徒に寄り添った語りかけで、生徒にとって大変有意義な時間となった。

また、初めての取組である「災害時の知恵」では、想像以上に生徒の取組姿勢が良かった。

【課題】

今回は3種類であった「災害時の知恵」について、さらに種類を増やし指導したい。

また、保護者や地域住民の方の参加を促せるよう、いかに工夫できるかが課題である。